

蓬門

蓬田村公民館報
〔蓬門〕
第93号
発行所 郡民
青森東津公
蓬田村公所
印刷所
蟹田印刷所

成人になる若人の門出を祝う

九十五名の男女社会人となる



昭和三十一年度、新らしく社会人として門出をする若人をお祝いする。成人の式が一月十五日、蓬田村建設教室で開かれた。来賓として武井村長始め多数参列、おごそかに開式となり、若人の前途を祝し、坂本館長から記念品の贈呈、三上教育研究所より記念品、映画観賞後、希望に満ちた会した。

成人のこころ

今日は私達が成人となったことを記念して、このように立派な成人式を行って下さいます。ありがとうございます。

考えて見ますれば、私達は太平洋戦争の最中に生まれました。そして敗戦と戦後の混乱の中に育ってまいりました。

私達は、このような日本の歴史の激動期の中に、私達をこれまで育ててくださった両親を始め、すべての方々へ深く感謝いたします。

昭和三十一年は、私達にとって輝やかしい新年でありました。私達は成人

会場小湊劇場

代表 藤本ツタ

本日私達の成人のお祝いをかくも盛大に挙げていただきまして成人を代表いたし心から厚くお礼申し上げます。また唯今の激励、お祝いのことは私達肝に命じ今後の生活に役立てたいと思

成人については民法第三条に満二十歳を以て成人とすといふ。一口に二十歳と言われましても私達の経て来た二十二年、特に幼児期における育成には日本経済の最低の時期だつたとの事、両親はもちろんの事、多くの先輩の方々にとりかたならぬ御世話になつた事と思ひます。

本日このように成人式に出席していただいたのも父母兄妹はもちろんの事社会一般の方々のおかげと思ひ感謝いたします。昭和三十一年一月十五日

蓬田青年学級閉級式

三月十八日蓬田小学校において



どこでも青年学級の運営に頭を悩ましていた。今、蓬田青年学級(生徒会長八戸守)三十五名は去る一月八日の閉級式から始まり、毎週生徒会による計画日程表が作成され、講師先生がなされる成果をおさめてきた。彼岸ともなり、その農作業にも入る時期ともなり、更に講師陣の春休みに入るので一応今年度の閉級式を去る三月十八日午後七時、蓬田小学校、青級教室で行なわれた。来賓として、森教育長、清水議長、坂本公民館長出席、名志や主事(蓬田小学校長)から記念品を贈られ式終了後懇親会を開き、三月十九度はこの春、四月から閉級年を通した学習活動を申し合せ、なごやかに散会した。

蓬田 会長清水きく多
あすなる 会長 藤本富代
長 科 会長 張間きよ
生改、共同炊事について
交換話合集会

三月十九日午後一時三十分より夜場二階において初の会合を開いた。昨年田植期において、蓬田生改、あすなる生改はそれぞれ共同炊事にふみ切り、その効果を挙げて参りました。更に今年度は前進するため、お互いの話合の中から、共通な悩みを出し合い反省し、更に効果的なものはそれぞれの地域的に割出し、充分なる成果を挙げることを目的として開かれたわけです。

又、ポイントのおきどころは、蓬田長科両地区だけでなく、村全体実施運動に結びつき、村づくり運動の一カんとするのは大きなねらいである。先づ、坂本公民館長の司会、武井村長のあいさつ後、助言者として同席を得て話合が進められた。

その話合の要点だけを断片的に記して参考と致します。

● 共通的效果
田植期における婦人労力の軽減。減終後は晩の副食が居いているので、飯台を揃えるだけでよい、後方付後はゆつくり休める時間がある。炊事要員が不要になるので苗取、植付等に労力が振りむけられる。

2. 経費の半減
大量に買求めるから格安である、個々人の場合と違い無駄なく活用出来る、間食も統一されるから一日一人八円〜十円程度でよい(蓬田の場合)

3. 精神面のゆとり
晩ご飯後、明日の副食物の献立等の心配がない、ゆつくり就寝出来るから、一日の疲労の回復が早い、偏食者の矯正となる。

4. 文化生活
労力の軽減により、テレビを観る時間とラジオを聴く時間がある。文化生活のワンステップとなる。

5. 栄養価の確保
普及事務所から普及員の指導を得て、カロリーの計算による栄養価の充実した副食物がとれる。

● 反省と研究
1. 嗜好の度合が差程強くないが好き嫌があるもので、その是正に心を砕くべきだ。方法として、再三会合を開き、個々人の嗜好を調査し、共通に富んだ嗜好材料をとり入献立を作るようにする。

● 今年度の基本方針
1. 人夫賃の村内統一賃金制の確立。規定賃金よりオーバシ、高賃金を以て人夫のスカート(引き抜き)をしないこと。

2. 間食の統一

田植は勿論のことすべての作業において年々間食がはでになり、一人四、五十円もかけているようである(人夫の欲心を買った)喰余して家に持ち帰る程である。村内統一し、一人十円〜二十円位に押さえるよう呼かける。

3. 両グループの間食について

蓬田 一人八円、(それ位で出来るかとの声もあつたが)パンなどは殆ど手前製だから可能である。

● 長科

一人二十円で意識統一している。グループ外によく話合し、協力を戴き全部落を統一して行く(蓬田のように手前製で買求めるから)

4. 申し合せ意見

1. 間食の村内統一は、村の各種指導機関を通じて幅広くアピールし完全統一するよう働きかけて戴きたい。

2. 私たちも婦人会総会において、動議を以て提案し、総会の決議を経て村内に強くアピールする。

3. 村の最高行政、指導機関たる、村議会農協は早く連絡を密にして統一賃金を確立し、農労対策のためその指導と実施に強力な活動を望んでやまない。(筆責者 豊水)

新生活運動指定地区 長科おし

どり話合集会
財布をもつていない嫁の小遣金を月給制にして欲しい。
一月二十三日、長科部落公民館において、新生活運動指定地区、長科、あすなる生改グループでは婦人だけで解決出来ない問題点もあるし、なんとかして主人の理解と協力がなければ活動出来ない面も多くあるので、主人と一所に話合の場を得るためおしどり集會を開いた。

● 今年を以て指定地区が切れるわけですが今後村、県はどのような指導を進めてゆくかお質ねしたい。村では既得の予算を確保し、更に出来得れば増額して、物、心両面から指導してゆきたい。

▲ 県では一応今年で指定地区が終りになるので、今までの助成金はだせないから、専任講師派遣等併せて精神面で援助してゆきたい。

○ 蚊の配布時期が遅れて効果がうすれたように思うから今年四月に入つたら早く配布の作業にとり組んで欲しい、更にその前に防えき委員を集め、薬剤の効果的散布の指導して戴きたい。(要事項)

○ 母の不在な家庭内に非行少年が出ていると云われているがその点についてどうか。

▲ 「母なる大地に還れ」と云れるように、どうしても母親が働くに出て留守な家庭に、率から云うとあるときいている(全部と云うことではない)どうしても母親が他に働かざるを得ない生活に困る家庭は仕方ないが、出来るならば母は家庭にあつて子供に愛情を注ぎその行動を見守つてやることのがぞましい。子供が母親の愛情に甘いたいもので、その愛情を得られない反動から非行になる少年も数の中にはある。今や全国的に「母よ家庭に還れ」運動が進められている。

○ 申し合せ事項
1. 若いお嫁さんでまだ家庭内で財布をもっていない方は、そのつど

新生活運動事業実施報告書

東郡蓬田村長科地区

生活運動推進の母体	国体の名称	東郡蓬田村長科地区
	代表者氏名	張間キヨ
地域の概要	戸数、世帯数、人口など	戸数 96戸 世帯数 106戸 人口 665人
	職業別世帯数	農業 75 漁業 3 商業兼 5 その他 12

実践目標 蚊とハエの撲滅、婦人労働の軽減

実施月日	場所	事業名	実施要領	対象人員	講師助言者職氏名
38年 5.19 ~ 25	藤本さな宅	田植共同炊事	希望者1日2食	グループ員	生改善普及員 佐々木良子
6.25	長科集会场	環境衛生に関する講演会	蚊ハエの撲滅について	グループ員	役場衛生係
7. 1	村 1 帯	蚊ハエ薬剤撒布	屋外屋内	グループ員外	なし
7.10	"	"	"	"	"
7.20	"	"	"	"	"
7.31	"	"	"	"	"
8. 5	狼の森部落	先進地視察	希望者	グループ員外 43名	公民館長坂本豊水 教育委員会係
8.25	村 1 帯	蚊ハエ薬剤撒布	屋外屋内	グループ員外	なし
9. 1	"	"	"	"	"
9.10	長科集会场	批判会	現在までの活動について	グループ員	公民館長
11.23	"	狼の森視察の記録映画上映	左に同じ	"	"
12.17	"	新生活講座	家庭教育と子供のしつけ	グループ員外	浜中たけ先生 公民館長
39年 1.16 ~ 17	坂本貞子宅	農事講習会	畑作物	グループ員外 1般	農業 前田雄蔵
1.23	長科集会场	夫婦座談会	今後の推進方針	グループ員 夫婦	新生協務課 公民館長 渡辺昭一郎
2. 9	張間さき宅	生花講習会	池の坊流儀	グループ員	生改善普及員 佐々木良子
2.10	長科集会场	新生活講座	社会教育と新生活運動	グループ員外	武田澄江先生 公民館長
2.24	張間さき宅	生花講習会	池の坊流儀	グループ員	生改善普及員 佐々木良子
2.29	長科集会场	農事講習会	畑作物玉葱の作り方	グループ員外 1般	青森市立農事試験場 高橋尚作先生
3.10	役場会議室	(予 定)	田植共同炊事の意見交換会	蓬田生改善普及員 坂本豊水	公民館長 坂本豊水
3.20	長科集会场	(予 定)	反省会(29年度の計画)	グループ員 外村有志	公民館長 坂本豊水

(2) 運動効果について

イ. 地区住民の運動への参加への参加状況と住民の意欲に与えた影響
田植の共同炊事に伴って、婦人達の積極性が生んだ効果は、当地区にとつて住民のみと定めるものとなり、今後は部落の事業として進展せるものと考へられます。生憎記録写真のもつていなが残念です。

ロ. 実践課題の進展状況
イに同じです。

ハ. 当該市町村の補助育成状況
① 狼の森部落視察の際は公民館長さんの働きで旅費は無料で貸切バス1台に43名の希望者が楽しい有意義な1日を送りました。
② 蚊とハエの撲滅に当つては役場との連絡のもとに薬剤は他村より少しく予算を見てもらい、役場より配布してもらつております。
③ 精神的な協力では坂本公民館長さんに於いて心よく相談に乗つてくれましたし、村の有力者もその後の集会には顔を出してくれる様になりまして、今後の活動にプラスになると思ひます。

ニ. 講師のあつせん、事業共催等の協力事項
講師のあつせんには相談などは殆んどございませんでしたが、事業共催は村に於ける保健衛生講座などは再三1緒に開催して出席率の向上に努力しております。

(3) 問題点
今後の運動参加を円滑にする為にはどの様な事業を計画したらよいかと考へる次第です。

必要の小遣銭をもらつてはいるが、なにかにつけ婦人は男よりこまごまな日用品が必要であるし、なにかと計画的買物等で小遣銭を月に決めて月給制にして戴きたいものだ。額はそれぞれの家庭の都合もあるでしょうから一様でなくともよい(意識統一)使用目的がはっきりしたものでそのつどもらうのはなんとなく気が引ける。月給になると、普段心算して貯金しておいても目的のものは買つてよい。

編者の意見
1. あいにく姑さんがおらなかつたので、おこがましいが意見として申述べてみる。
今や農家も月給制の機運が高まつているので要望通り、姑さんも一歩ふみきつて月給制にした方が望ましいと考へる。
深酒、尻長退散運動
主人たちはある会合で酒を戴くと、ときどき家庭にけやくを連れて流れて来る時がある。話に花が咲き十二時までも帰らぬときは眠いし、明日の仕事にさし障るので

よい退散の特効薬がないものか? あります。狼の森の新生活運動のよりに、九時就寝遅く九時になつたら、さつさと寝てしまふこと、そうすると女気と火の気のないところに云々で、流石の呑みときでも退散。
そしたら、あしこのアツチャ、欲だの、あしそ気がないとか云うだろに。
そんなこと、気にしない、それは欲でもなし、あしそ気がないのではない。
家庭は二次会の場でもなし、十時十二時までも酒をのむところでもない。
みんながその方向に進むなら誰も云う人がなくなる。

自然は常に我々人間の無言の手下であり、慰めとなつてゐる。悲痛で苦しんでいる時は、母の手の如くやさしく癒してくれる。我々は自然のあらゆる姿——山雲空に深い心の感動の憧れを持つてゐる。新鮮な空気で満ちた森間としてゐる山中にどんなに憧れてゐることか。真青に澄みきつてゐる空によつてどんなにかはげればれすることか、激しい風とどよりした厚い鉛色にどんなにか驚るべきの眼と感嘆を持つことであろうか。老壯思想の流れをくむ幾多の詩人、例えば、普の陶淵明唐の王維、孟浩然などが世人の有限的なものにこだわつて是非真偽を争うことの愚を非難し、ただ天命にまかせ、煩惱を除いて出世的ないわゆる理想郷に消遁すべきことを云つて、自然の中に現世を逃避したのも問題はあろうが充分にうなずけることである。自然は美しい。しかし決して虚飾に色どられず、けしき、貧乏、又素朴である。

自ら然る姿
郷沢中川信義

我々が自然に強い感動を持つのは、この素朴な力強さに対してではないのか。自然とは「自ら然る」ということである。ここに一切の真理がある。あるがままの姿があるがままにあるということ。ここに偉大な真理である。我々は自然からこのことを学ぶべきである。何故なら一般に人間が自分に対するもの(一切を含む)に接する時、自己の主観、或は観念でみるのであるならばその物をありのままに理解する事は出来ない。そのままたそのままと理解するためには自己の主観を捨て去ることによつてである。鏡がくもつたり取道しておれば決して事物をありのままに写す出ることが出来ないと同じ理である。我々が相手を誤解したり、憎んだり争つたりすることは自己の主観、観念を第一に置くからであると思ふ。我々が自然から学ぶべきことは、この自然の自ら然る姿である。自己の主観にとらわれず、それ以前の、ありのままの姿へ自ら然る姿に迄持つて行くことではない。

やがて人々を深い愛に於て結びつけること。ここに充分考えさせる問題がある。虚飾に色どられた文学作品が、いかに美辞麗句が多いと云へども決して永続すべき筈がない。人間性の深い真実を表現し、普遍的人間性の基盤に立つて初めて現在までも生き生きと脈々つてゐるのである。またそれは決して個人的主観でも観念でも造られるものではない。何故なら主観や観念によつては、いつでも正しく真実を把握出来ないのみならず、普遍的真理を表現し得ないものだからである。普遍的人間性は決して他のものにとられるものではなく、それ以前にあるありのままの人間の姿なのである。これこそ自ら然る姿でありこの境地に於て自然と一致するのである。

自己の姿を、自ら然る姿として、そこから書き表わした文学作品が民族の差を越え、時代を超越して、真に我々に迫つて来るのである。ここに作者の文学者として、人間としての偉大さがあつた。ここで、普遍的な人間性によつて打ち建てられた文学が各国民、各人の特色がなく、単色に塗りつぶされるというのではない。その表われが各人特色特徴があつて良いことである。その底にある姿が、普遍的な人間性にあつてゐることである。

或る罪に対しての罪意識とそれに対する後悔の苦しみを持つのは人間である。何故に罪の意識を持つ得るのか、ここに重要な問題があると思ふ。自分のなした行為がどんなに残酷であろうと敢えて苦しむ必要はないではないか。しかし人間は罪に対してその意識と後悔の念をもつ、これは人間に良心があるからである。「そうする事は悪いことだ。だからすべきではない」という理性の声に従つて行動し得る力を持つてゐるにもかかわらず行動し得なかつた所に起るのである。人間の正しい状態をいつきり知つて、それから離れたことに対して後悔の苦しみを持つのであると思ふ。

そしてそれによつて人間は再び正しい状態に戻り得るのである。

従つて良心によつて苦しみを感ずるのであるが、それは又正しい状態に立ち帰ろうとする所に起ると云へるのである。フアストの中に主がメーファストに云う言葉がある「よい人間はたとえ暗黒な衝動にかられても正しい道には決して忘れはしないものだ。」人間には良心がある。人間は良心によつて自由を束縛されるというのではない。良心はそれ自身であるから、良心は決して虚りのあるものではない。ありのままの人間の心である。

ここに自我を超越して人間一般に共通の世界がある。何ものにも束縛せられないこのありのままの姿こそ人間の自然である。良心そのものの姿は自ら然る姿であつたのだ。人間は宗教から封鎖の権力からも絶対に支配されることのない自由人である。宗教の権力も人間にとつて第二義的或はそれ以下のものである。イタリヤに起つたルネサンスが、ドイツ、スイスに起つた宗教改革運動が実にそのことを示している。人間に於ける中世は暗黒時代と呼ばれ、人間も芸術も道徳も政治もすべて宗教的観念に支配され、真理も神を離れては存在を許されず、又封建社会の因習が世界を支配し、全て人間の自由な精神活動を束縛されてゐた。然るに十字軍の完全な失敗は宗教改革を促させここにルネサンス、宗教改革が起つたのである。ルネサンスも宗教改革も云うまでもなく人間精神の解放を目指す運動であつたのである。束縛を脱して人間の本来の姿を求めようとしたのであつた。この本来の姿こそ自ら然る姿に他ならない。何故なら自ら然る姿とは、それがそのままある姿であり一切の束縛以前にあらゆる真理を持つて厳然と存在している姿であるからである。自由なる人間の姿は自ら然る姿であつたのだ。ここに云う自由とは行為の自由ではない精神面に於ける自由を指す。この世に真に平和を打ち建て、人々が愛と理解のうちに、につくり笑ひ合ひ得ることは、人間の中の姿を表現することである。そうでない限り永遠に戦争は続くであろうと思はれる。何故なら自ら然る姿こそ個人の主観や観念にとらわれぬものではなく、ありのままの姿であり、それによつて、その人に対する一切のものをありのままに解悟出来るのであるからであり、又古今を通じて民族を異にしながらお互を結びつける普遍的な人間性他ならぬものがある。人間が互に結び合うことの出るものは、この姿に於てであるからである。もつとも戦争は経済的な問題が根となることか否かである。どんなことでも明日の生活を心配せねばならぬのが今日の生活である。ここに困難があるが今日経済的に束縛されている人間以前に自由な自ら然る姿があつたことを忘れてはならない。自ら人間である以上人間はあらゆる欲望を持つてゐる。

自然は目の前にある。自ら然る姿で、一切の真実を含んで、偉大な自然は、何かを話してゐる。

自ら然る姿は、何かを話してゐる。